

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人間福祉学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教員の個人研究費、図書費、研究専念時間を確保する。	→文部科学省科学研究費補助金、中央省庁などの外部資金獲得への申請件数、採択件数および獲得額。	B	B	B		
2. TA、ゲストスピーカーを配置する。	→TA、ゲストスピーカーの人数。	B	B	A		
3. 施設・設備検討委員会において講義室、パソコン教室といった教育研究等のための施設、設備の整備について検討する。	→各教室の利用頻度。	B	B	B		
4. 資料室委員会において資料室の整備について検討する。	→資料室ののべ利用人数。	B	B	A		
5. 実践教育支援室運営委員会において実践教育支援室などの教育研究等を支援する施設、教育研究支援体制の整備について検討する。	→実践教育支援室ののべ利用人数。	B	B	A		
6. 研究倫理委員会を設置を検討する	→研究倫理委員会設置の要綱等。	C	C	C		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2010年度に比べ教授、准教授、助教ともに担当平均授業時間は増加しており、研究専念時間が確保できているとは言い難いながらも、外部資金獲得への申請数や外部資金等は確保できている。
目標2	TA、ゲストスピーカーは各担当教員の希望に応じて確保している。
目標3	施設・設備検討委員会を適宜開催し、教育・研究のための施設整備について検討している。
☆ 目標4	資料室委員会を適宜開催し、資料室の整備（資料室置きの図書ならびに視聴覚資料の検討等）を行っている。
目標5	実践教育支援室運営委員会を適宜開催し、教育研究支援体制の整備ならびにその施設の充実を図っている。
目標6	研究倫理委員会の設置および要綱等の作成については進捗していない。
備考	

## 《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【人間福祉学部】			単位	2008	2009	2010	2011	2012	備考
指標1	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、授業補佐の採用数	教学補佐	人	9	11	10	12	12	他に、人間福祉実習助手5 (2008、2009、2010、2011、2012年度)
		実験実習指導補佐・教務補佐	人	1	2	2	2	2	
		授業補佐	人	0	0	0	0	0	
指標2	専任教員の担当授業時間(平均)	教授	時間	9.8	10.5	12.5	14.3	15.2	45分をもって1時間に換算
		准教授	時間	10.7	10.5	12.3	14.1	14.1	
		講師	時間	16.2	15.2	18.0	—	—	
		助教	時間	8.0	8.0	8.0	9.0	11.3	